

私立幼稚園幼児教育振興助成に関する請願

(1) 請願の要旨

1. 「私立幼稚園健康診断補助金」を乙訓管内の全幼稚園にお願いしたい。
2. 幼稚園のICT化の補助金をお願いしたい。
3. 2歳児への幼児教育を行う幼稚園への補助金をお願いしたい。
4. 2027年に開設予定の発達支援センターと就学時・就学前から幼稚園と連携できる組織を作って頂きたい。

(2) 請願の理由

幼児教育は、先進国においては、持続可能な社会形成のためには不可欠なものであると理解し、良質の幼児教育を幼児たちが受けることができるための政策を実施しています。日本でも、2019年度より幼児教育の無償化が開始され、他の先進国と並ぼうとしています。ですが、まだ、幼児教育の充実を助ける政策は不十分なものです。すこしでも、良質の幼児教育を子どもたちに受けさせるために、幼児教育の中心を担っている幼稚園への援助と幼児教育を支える地域の環境整備をお願いしたいと思い、この請願をなしました。

(3) 請願の内容

1. 「私立幼稚園健康診断補助金」を乙訓管内の全幼稚園にお願いしたい。

教材費補助に代わり、長岡京市・大山崎町は、健康診断と歯科検診のための費用を幼稚園に補助をし、その園児たちの健康への配慮を行って来ています。これを乙訓全体で行っていただきたく思います。

そして、各幼稚園の所在地に属する園児のみの補助でなく、二市一町に在住する園児であれば、二市一町に所在地のある幼稚園に登園しようとも、健康診断、歯科検診に関する補助が受けられるようお願いしたい。

2. 幼稚園のICT化の補助金をお願いしたい。

文部科学省にもこれからの幼児教育とICTの活用と提言しています。質の高い幼稚園教育を行うためにはまずは幼児理解が大切です。幼児の動きなどの情報をデータ化するセンシング技術を活用して幼児理解と支援を深めることができます。また無償化に伴い、園の事務量は確実に増えました。それに加えて労働基準法の改正に伴い、先生方の勤怠を正確に把握し、労働環境を改善していく必要があります。これらのことを考える時に、幼稚園でのICT化は、幼稚園においても不可欠になっています。この支援をお願いしたい。

3. 2歳児への幼児教育を行う幼稚園への補助金をお願いしたい。

女性活躍推進や、孤立した子育て時代の変化に伴い、国や府レベルで行政が押し進めている「幼稚園の親と2歳児の通園や2歳児の幼稚園教育」があります。この分野も、各幼稚園の自己負担によってまかなわれています。市町村レベルでの補助金をお願いします。また、2歳児の幼児教育を行うための環境整備も必要です。少子化対策を行うためにも、2歳児を社会全体で育てるという思いを持って、それに取り組む幼稚園を応援して下さるようお願いしたい。

4. 2027年度に開設予定の発達支援センターと就学時・就学前から幼稚園と連携できる組織を作って頂きたい。

発達支援のために、乙訓管内で2027年に開設予定の発達支援センターにとっても期待をしています。療育が必要な子どもたちも年々増加している現状の中、この支援センターの中で幼稚園就学している療育の必要な子ども・就学前でも療育の必要とする子ども自身とご家族、そこに向き合う保育者はその時々その場で適切な療育を受けられれば、必要のない悩みや苦しみからも解放されるのではないのでしょうか。こうした子どもたちやその環境に早期の対応を図る事で、就学後の特別支援教育やインクルーシブ教育も大きく進展すると考えられます。

幼児期の発達支援のためには、重要なものとなるこのセンターと幼児教育との連携をお願いしたい。

以上4点につきまして、乙訓の行政が世の中の人材育成の根本や本質にあたる幼児教育や療育に関して直接しっかりと支えるという体制をとる事を公に示すことで、社会もこれを評価し、その結果ますます乙訓地域の健全な発展を促すものと信じています。どうぞよろしくをお願いします。

以上、私たち乙訓地区の私立幼稚園の保護者と教職員は地域住民の期待に応えるため署名簿を添えて助成をお願いいたします。